授業科目名・形態	成人看護方法論Ⅰ(慢性期ケア)　演習	必修・選択の別	必修	単位数	2
科目担当者氏名	渡邉　知子・井澤 美樹子	実務経験の有無	有	開講期	前期・後期
科目ナンバリング	N5-2011npmht				

【授業の主題】

疾患の慢性期にある人や慢性疾患をもつ人の健康障害とその家族を含めた生活障害を理解し、アドヒアランスやセルフケア能力を支援することで生活の維持継続に必要な看護援助の方法を学ぶ。また、生活習慣病のひとつであるがんに罹患した人の経験や成人期の発達課題への影響を視野に入れた看護援助について学ぶ。

【到達目標】

1．疾患の慢性期にある人や慢性疾患をもつ人の健康障害と生活障害を学ぶ。
2．生活習慣病による成人期の発達課題と家族への影響を学ぶ。
3．成人期の健康障害と生活障害を軽減するための看護援助を学ぶ。

【授業計画・内容】

〈井澤〉

第1回　慢性期看護の考え方
第2回　慢性期にある疾患と治療
第3回　慢性期にある人の特徴
第4回　慢性期にある人と家族の理解
第5回　慢性期にある人と家族への援助
第6回　慢性の代謝機能障害をもつ人の看護①
第7回　慢性の代謝機能障害をもつ人の看護②
第8回　慢性の代謝機能障害をもつ人の看護③
第9回　慢性の内部環境調節障害をもつ人の看護①
第10回　慢性の内部環境調節障害をもつ人の看護②
第11回　慢性の視覚機能障害をもつ人の看護
第12回　慢性の循環機能障害をもつ人の看護①
第13回　慢性の循環機能障害をもつ人の看護②
第14回　慢性の呼吸機能障害をもつ人の看護①
第15回　慢性の呼吸機能障害をもつ人の看護②，まとめ

〈渡邉〉

第16回　慢性の脳・神経機能障害をもつ人の看護①
第17回　慢性の脳・神経機能障害をもつ人の看護②
第18回　慢性の脳・神経機能障害をもつ人の看護③
第19回　慢性の脳・神経機能障害をもつ人の看護④
第20回　慢性の栄養摂取機能障害をもつ人の看護①
第21回　慢性の栄養摂取機能障害をもつ人の看護②
第22回　慢性の運動機能障害をもつ人の看護
第23回　慢性の生体防御機能障害をもつ人の看護①
第24回　慢性の生体防御機能障害をもつ人の看護②
第25回　がん医療の特殊性とがん治療を受ける人の看護
第26回　慢性の排泄機能障害・性機能障害をもつ人の看護
第27回　慢性の造血機能障害をもつ人の看護
第28回　事例展開・看護過程
第29回　慢性期にある人や慢性疾患をもつ人の生活の再構築
第30回　まとめ

【授業実施方法】　講義・演習での授業になります。課題のグループワークやディスカッションを行い発表してもらいます。また、課題のグループワークや発表から学生の意見を整理しリアクションペーパーを提出してもらいます。

【事前・事後学習】　事前学習課題、レポート作成、試験対策を含め総計30時間程度の自己学習を行ってください。

【主な関連する科目】　成人看護学概論、病態治療学Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護学実習Ⅰ・Ⅱ

【教科書等】　成人看護学 慢性期看護論　第3版　ヌーベルヒロカワ
NICE 成人看護学 慢性期看護　第4版、成人看護技術　改訂第3版　(以上、南江堂)
系統看護学別巻 リハビリテーション看護 第6版、がん看護学第3版　(以上、医学書院)

【参考文献】　人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ、病態治療学Ⅰ・Ⅱの指定教科書

【成績評価方法】　筆記試験（80%）、講義への取り組み姿勢・提出物等（20%）での総合的評価

【実務経験及び実務を活かした授業内容】　脳血管障害専門病院、リハビリテーション病棟、放射線治療専門施設での専門性の高い経験で得られた知見から、慢性期看護や慢性疾患の看護について講義します。

【学生へのメッセージ】　疾患の慢性期、あるいは、慢性疾患で生じる健康障害と生活障害を軽減するために必要な看護援助と多職種との連携について考えましょう。